

## 1 シェアサイクル社会実験の概要

### (1) 目的

自転車を共同利用する「シェアサイクル」は、自転車の総量抑制だけでなく、観光客の利便性向上が期待されることから、区が民間事業者を支援することにより、区内での活用状況の変化や今後の定着の見通しを検証するため、社会実験を実施している。

### (2) 現状の社会実験の内容

- ア 実施方法：事業者が区管理用地をサイクルポートとして提供した。
- イ 事業者：公募により、ソフトバンク系列のOpen Street(株)(以下「オープンストリート」という。)を選定した。
- ウ 実施期間：令和元年12月1日から令和6年3月31日まで
- エ 経費：運営に要する費用は事業者が負担し、区管理用地の使用料は免除とした。

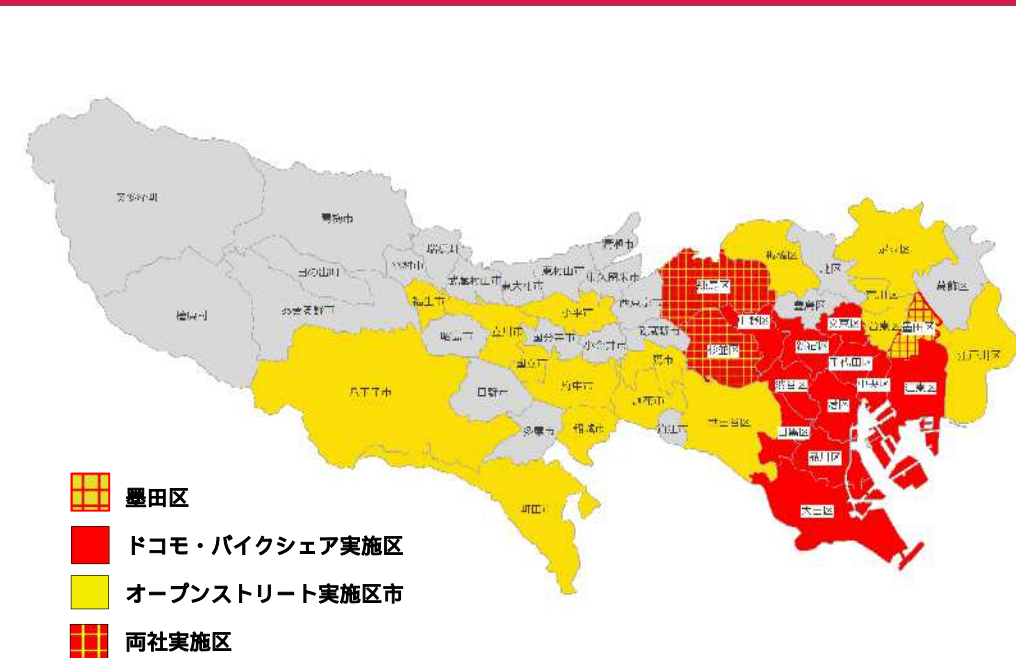
### (3) 区役所の役割

- ア 区民への周知・広報(区報、区ホームページ等)
- イ サイクルポート用地の提供 15ポート 198ラック分 (オープンストリート提供分)

## 2 ドコモ・バイクシェアと広域連携の概要

- ・ドコモ系列の(株)ドコモ・バイクシェアは、2015年設立、自転車台数15,600台、会員数100万人、利用回数1,200万回(東京エリア2020年度実績)単年度黒字化(2020年度)を達成
- ・現在は、13区以外にも乗入れ区を拡大する方針に変更したため、今後、自治体の負担なしでも広域連携に参入可能となった。
- 広域連携とは、ドコモ・バイクシェアが区境を超えて運用するための協定締結区の団体(自転車シェアリング広域連携に関する基本協定。13区：千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区及び中野区。令和4年2月以降、杉並区及び練馬区も参加)

## 3 シェアサイクル実施自治体地図



令和4年5月現在、杉並区と練馬区がドコモ・バイクシェアとオープンストリートの両社と協定を締結している。  
墨田区もオープンストリートに加えてドコモ・バイクシェアと協定締結するとともに、広域連携と協定を締結する予定

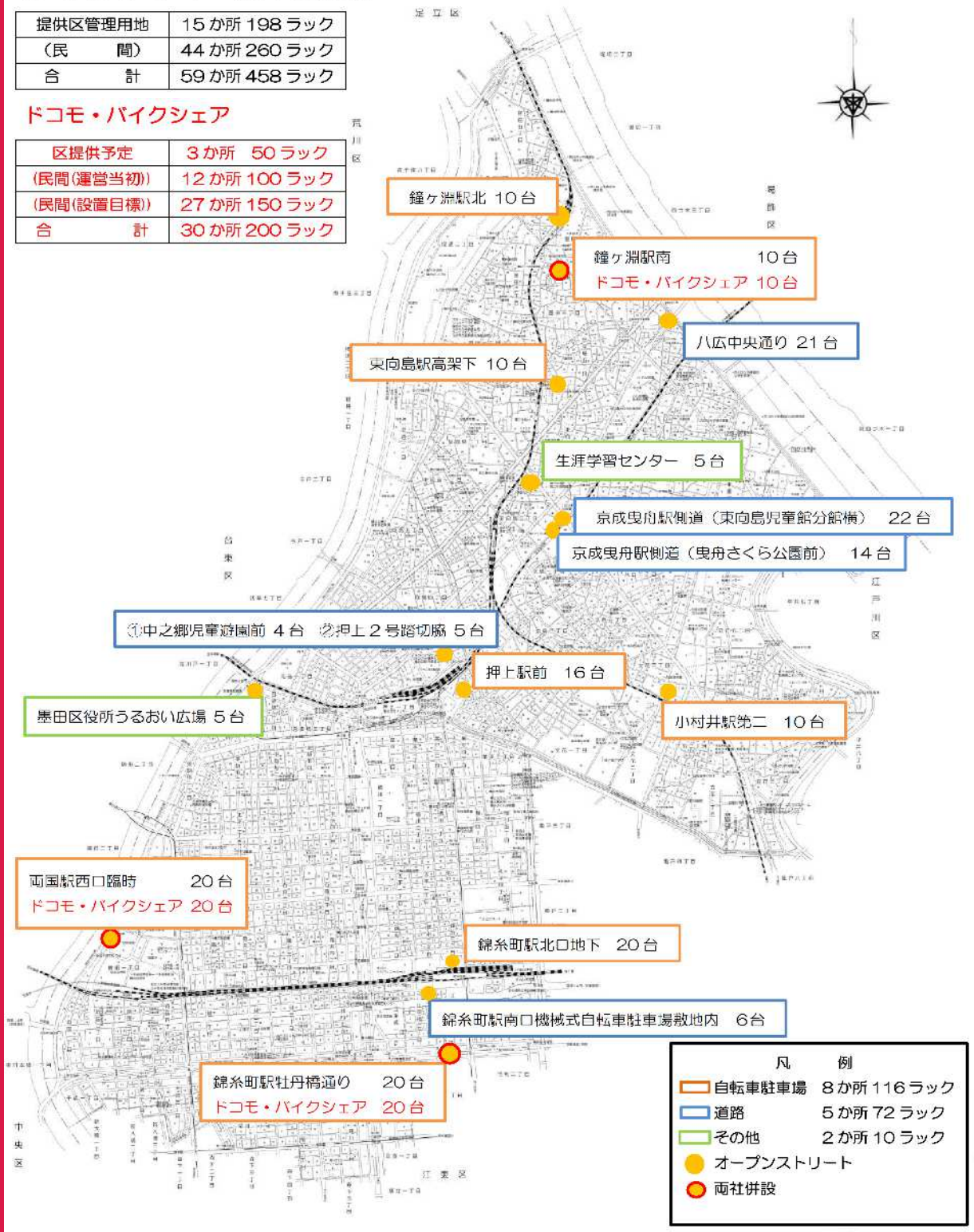
## 4 サイクルポート予定地(区管理用地のみ表示)

オープンストリート 令和4年5月現在

提供区管理用地	15か所 198ラック
(民間)	44か所 260ラック
合計	59か所 458ラック

ドコモ・バイクシェア

区提供予定	3か所 50ラック
(民間(運営当初))	12か所 100ラック
(民間(設置目標))	27か所 150ラック
合計	30か所 200ラック



## 5 今後のスケジュール

- ・ドコモ・バイクシェアと協定締結：7月上旬
- ・広域連携と協定締結：7月上旬
- ・区内での事業開始：7月下旬